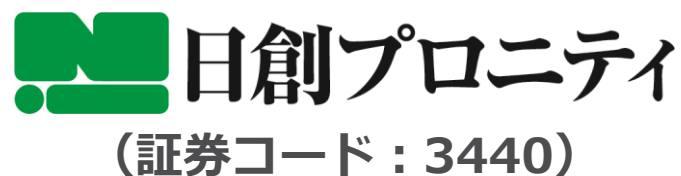


NISSO PRONITY

福証IRフェア

2022年12月21日



目次

INDEX

- 1 会社概要
- 2 当社を取り巻く事業環境と
チャレンジ
- 3 2022年8月期決算概況と業績見通し
- 4 第3次中期経営計画の進捗状況
- 5 当社の配当方針



会社概要

会社概要・沿革

商号	日創プロニティ株式会社 (英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)
本社	〒815-0035福岡県福岡市南区向野2-10-25
事業内容	金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
営業拠点	本社、東京営業所、福島営業所
製造拠点	山田工場 (福岡県嘉麻市) 福島工場 (福島県石川郡)
関連会社	吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県) 日創エンジニアリング株式会社 (東京都) 綾目精機株式会社 (広島県) 株式会社ダイリツ (愛知県) 株式会社壹会 (東京都)
代表者	代表取締役社長 石田 徹
設立	1983年9月
資本金	1,176百万円
市場区分	東京証券取引所スタンダード市場、福岡証券取引所
発行済株式数	7,360,000株
決算日	8月31日



1983年	9月	日創工業有限会社を設立 福岡県山田市 (現福岡県嘉麻市) に山田工場を開設
1997年	9月	日創工業株式会社に組織変更 福岡県山田市 (現福岡県嘉麻市) 上山田へ山田工場を移転
2000年	12月	ISO9001認証取得
2007年	4月	日創プロニティ株式会社に商号変更
	8月	福岡証券取引所Q-Board市場に株式を上場
2011年	2月	東京営業所を開設
2014年	3月	福島工場を開設
	6月	福島営業所を開設
2016年	3月	吾孺ゴム工業株式会社と経営統合
	4月	日創エンジニアリング株式会社を設立
2017年	4月	綾目精機株式会社と経営統合
2018年	3月	株式会社ダイリツと経営統合
2019年	7月	東京証券取引所市場第二部へ上場 福岡証券取引所本則市場へ市場変更
2020年	1月	福岡市南区より同区内に本店所在地を移転
2022年	2月	株式会社壹会と経営統合
2022年	4月	市場再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行

加工
Processing

無限大
Infinity

前進
Progress



プロニティ
PRONITY

加工の無限大の可能性を追求し続ける

グループ経営理念 **日々創造**

当社の創業の精神であり社名の由来でもある
「日々創造」する企業集団であり続ける



経営理念のもと



グループミッション **価値の創造**

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し(事業の多角化)、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

グループビジョン **加工の総合商社**

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

※加工の総合商社：
加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループ

サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、
社会的価値と経済的価値を満たしていく

成長への投資

M&A、設備、人材、新規事業



※当社では、「加工」とは「素材に付加価値を付けること」と定義しております。

グループビジョン 加工の総合商社

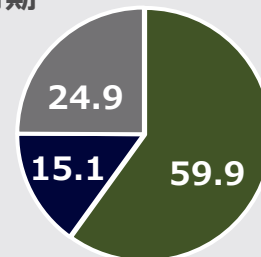
加工を通じてお客様のあらゆるニーズに
応える企業グループ

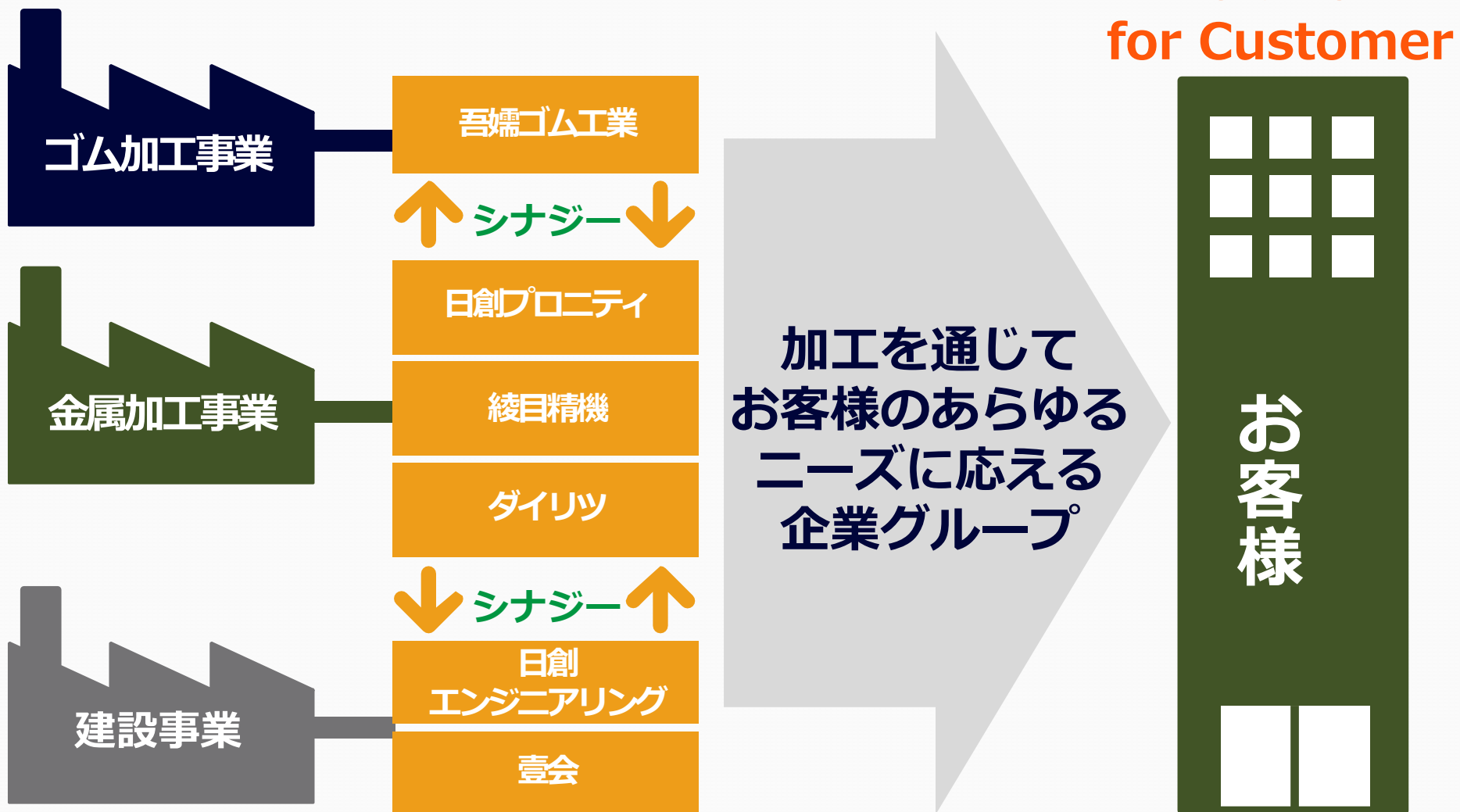
- ① 総合力、競争力
差別化により
収益力向上
- ② リスク分散

◆ 金属事業のウエイトが大きい

2022年8月期

- 金属
- ゴム
- 建設





あらゆる加工をワンストップで行いお客様の課題を解決

金属加工の流れ一例（日創プロニティ）

① 素材：コイル鋼材（薄板）



② 材料切断



③ レーザー加工
ターレットパンチプレス加工



⑥ 溶接・組立



⑤ 曲げ加工



④ バリ取り



当社の強み：あらゆる**金属加工**を**ワンストップ**で行える

主な事業領域（日創プロニティ）

■ 各種金属加工製品（オーダー加工品）



① 太陽電池アレイ支持架台



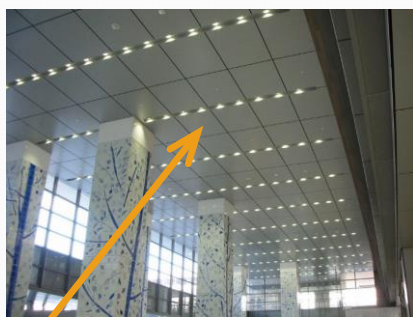
② 太陽光発電搭載型カーポート



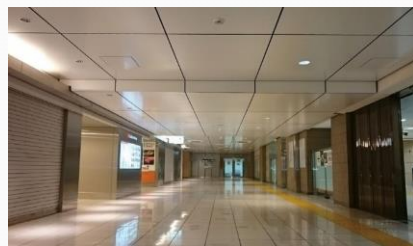
③ 金属サンドイッチパネル
(耐火パネル)



④ アートパネル:外部天井パネル
(JR博多駅)



⑤ 天井パネル:内装化粧パネル
(JR博多駅)



⑥ 天井パネル
(JR東京駅キッチンストリート)



⑦ 外壁パネル
(アルファロメオ店舗)

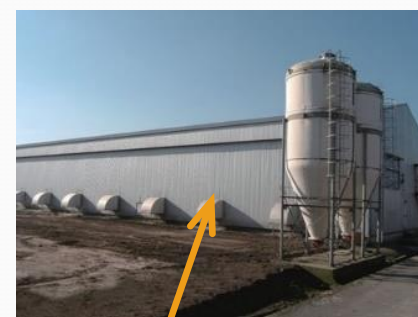


⑧ デザインシェードウォール
(ポリスミュージアム:東京銀座)

■ 各種金属加工製品（企画品）



⑨ 金属屋根材



⑩ 金属壁材

➢ 広範囲な業界に向けて、各種金属加工製品を提供

- ・ 建築、建材
- ・ 環境、エネルギー
- ・ 工場、プラント
- ・ 駐車場
- ・ 仮設、プレハブ
- ・ 半導体
- ・ 農業、畜産
- ・ 車輛部品

ほか

主な製品①太陽電池アレイ支持架台



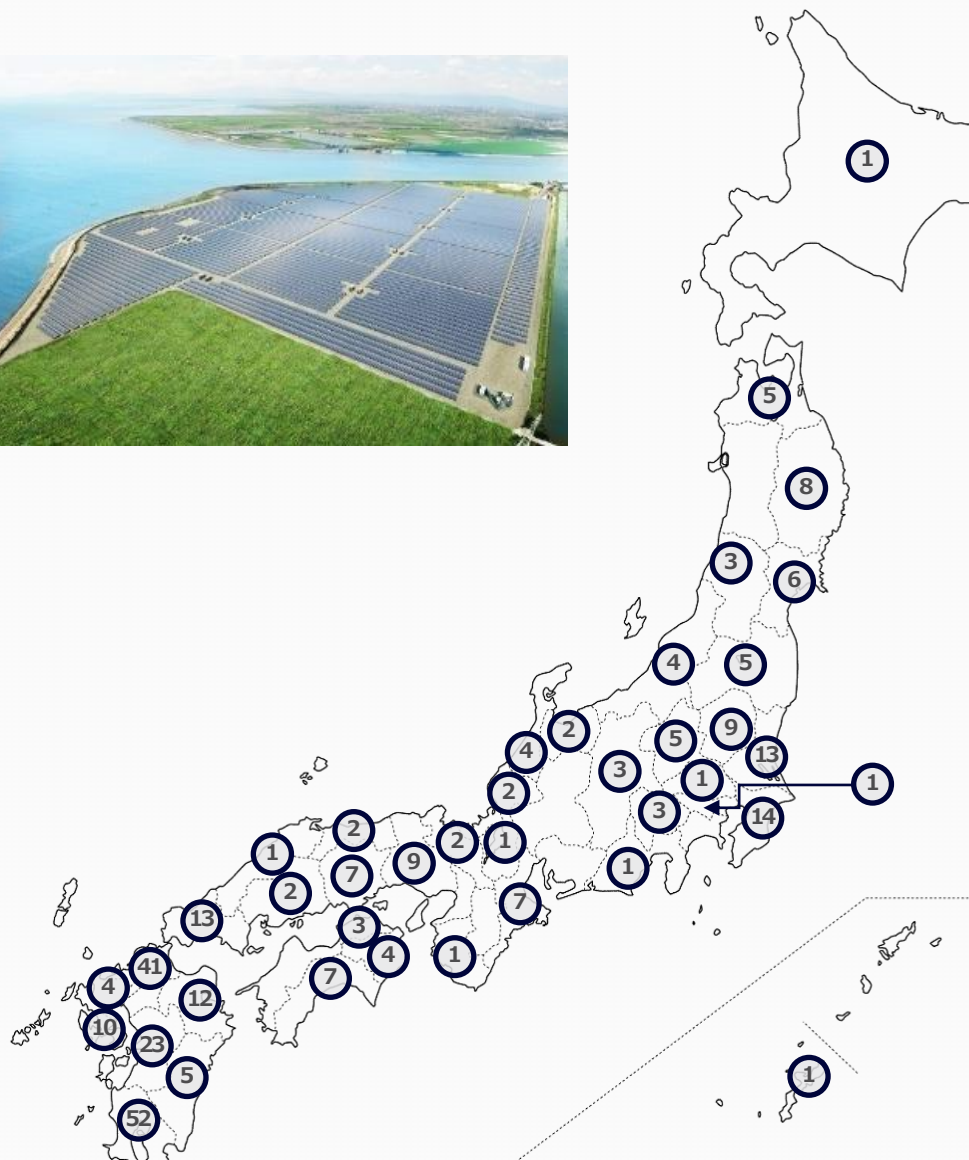
地上設置タイプ



営農タイプ



カーポートタイプ



メガソーラー受注実績

(2022年8月現在)

302件/1,800MW

一般家庭の年間電力消費量
約54万世帯分※に相当！

再エネ社会へ
大きく貢献！

※世帯年間電力消費量4,322kWh、
太陽光発電設備利用効率15%として当社試算

NISSO PRONITY Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な製品② 金属サンドイッチパネル (耐火パネル・不燃断熱パネル)

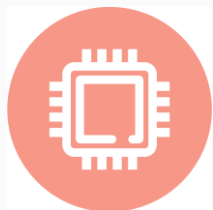
主な利用シーン



薬品工場



食品工場



半導体工場



物流倉庫



天井パネル

例) クリーンルームでの利用シーン
必要部材一式から施工までトータルで
ご提供できる体制を整えております

不燃断熱
パネル

耐火パネル

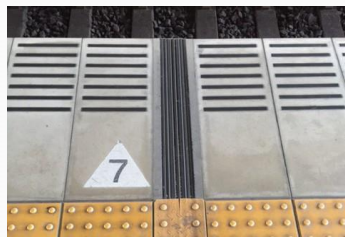
主な事業領域（グループ会社）

吾孺ゴム工業株式会社（2016年グループ化）



AZラバージョイント

下水道マンホール継ぎ手部分を
ゴム化した耐震部品



エキパンションシール
地震や温度伸縮などによる
変形から建築物を守るため
の接合部材

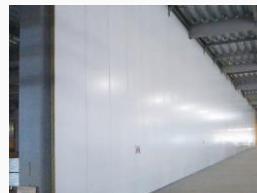
- 原料ゴムからの一貫生産を行う**ゴムメーカー**として、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を製造。

日創エンジニアリング株式会社

（2016年設立）



太陽電池アレイ支持架台設置工事



耐火/不燃断熱パネル設置工事

- 日創プロニティが「太陽電池アレイ支持架台」や「金属サンドイッチパネル」を供給し、日創エンジニアリングが**設置工事**を行うことで「材工一括受注」体制を構築。

綾目精機株式会社（2017年グループ化）



- 金属の**切削加工**を中心に、印刷機、農業用機械、車輛、工作機械等の部品など、幅広い分野の多様な受注に対応。

株式会社ダイリツ（2018年グループ化）



風量調節ダンパー

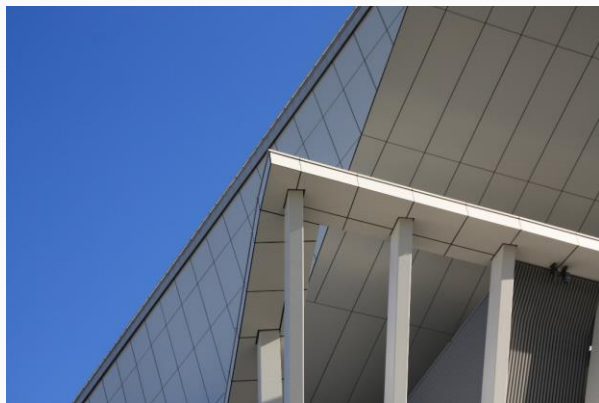
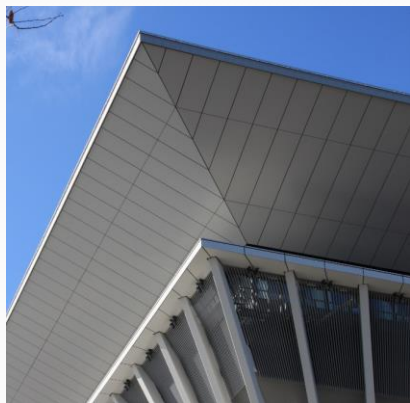


大型ダンパー

- 空調設備の風量調節装置、防火防災装置として用いられる、**空調用ダンパー**を製造。
- 各種プラント・発電所・トンネル等、様々な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力。

2022年2月新しく壹会をグループ化しました

株式会社壹会



東京アクアティクスセンター4F頂部庇

- 壹会は、各種建築物の内外装材として用いられる**金属パネル**、**ルーバー**などの**設計・施工**を主業とする建築金物・金属製建具工事業者
- 設計施工能力や品質管理能力に強みを有する



東京国際空港羽田国際線地区ターミナルビル 大屋根軒天パネル

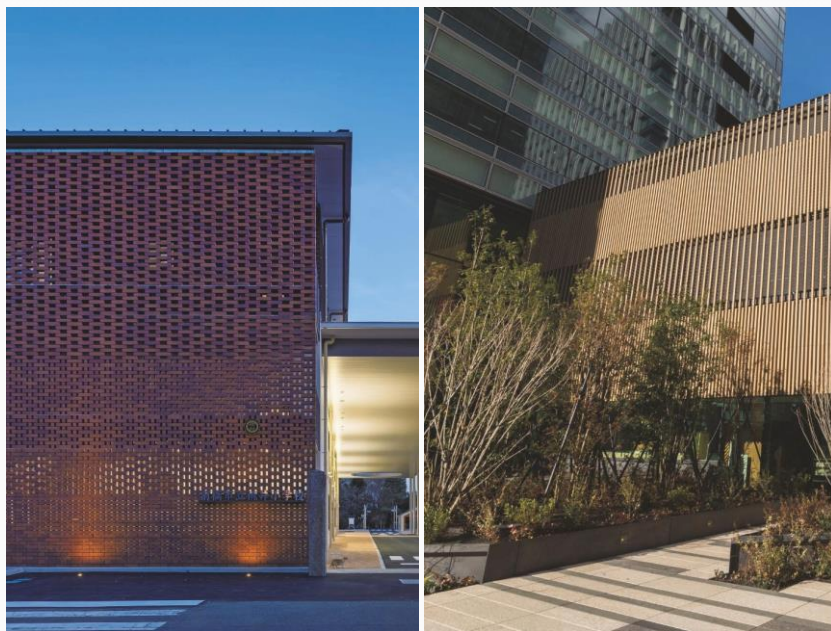


神田錦町 ビルエレベータホール壁パネル

想定する
シナジー

従来、外注にて製作していた建築金物の一部を**日創プロニティ**で製作することで、**グループ内製化を推進**しております。
今後は、日創グループで取組強化している金属サンドイッチパネルの設計・施工への関与も合わせて期待しております。

ニッタイ工業株式会社 エヌ・トレーディング株式会社



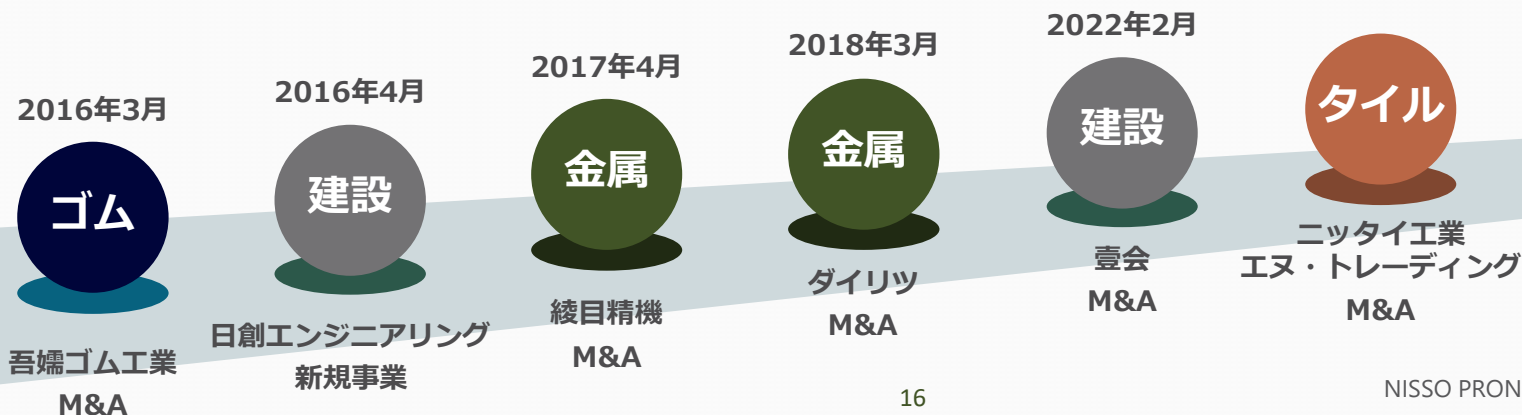
- ニッタイ工業株式会社は、タイルの製造・販売及び卸売を行う国内有数の**老舗企業**
- エヌ・トレーディング株式会社は、主にニッタイ工業株式会社向けにタイルの輸入販売を行う

営業拠点を主要都市**7か所**（東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・高松）に有しており、グループ全体の販路拡大につながる。

タイルと金属という**素材の垣根を越えて、同じ「建材」というカテゴリ**において、グループ全体の顧客基盤を活かしながら、販路拡大を目指す。

金属内外装材とタイル内外装材という幅広い提案ラインナップを武器に、顧客獲得を推進予定。

M&Aの推進方針

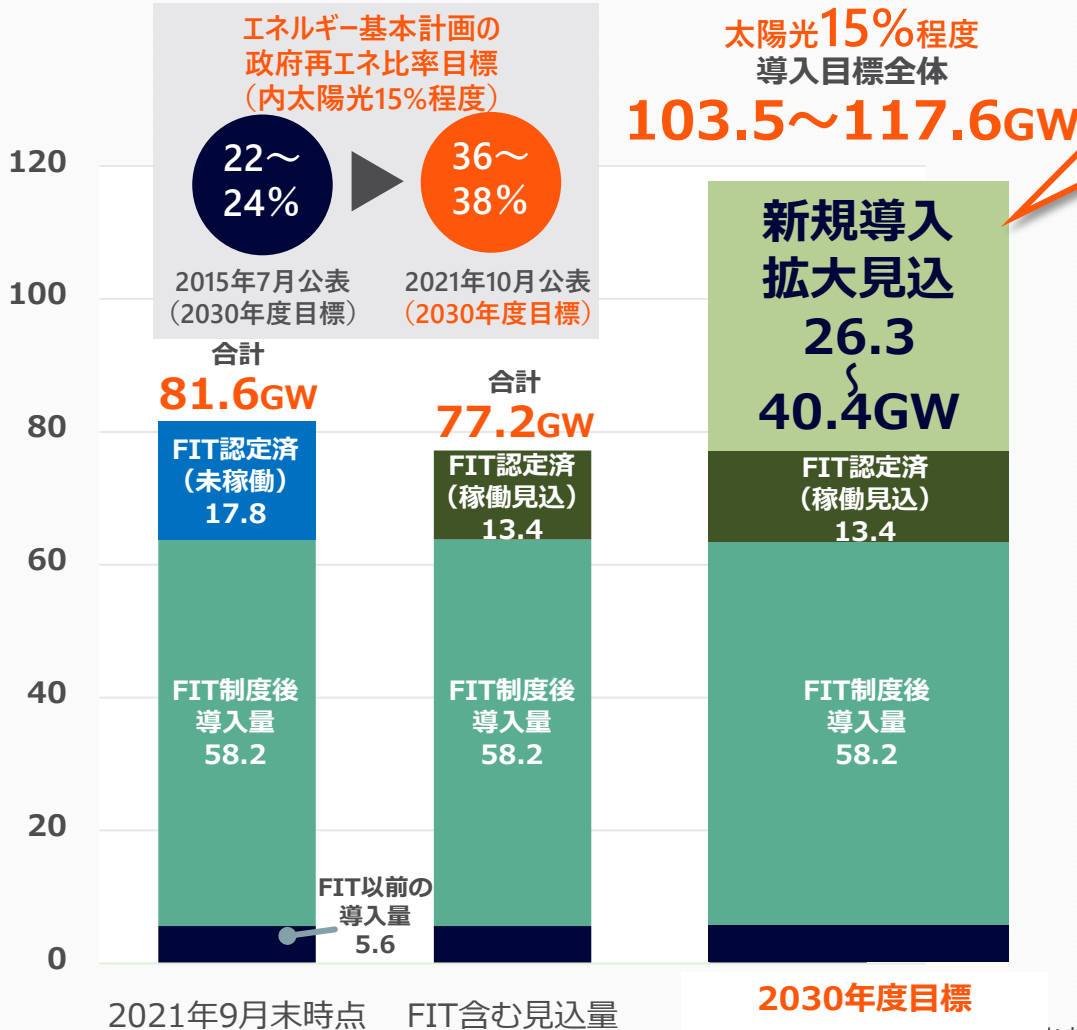




当社を取り巻く 事業環境とチャレンジ

事業環境：自家消費型再生可能エネルギーの市場

政府が、エネルギー基本計画に基づいた2030年再エネ導入目標達成を目指し、約27～41GWの太陽光発電設備導入目標を公表しており、**自家消費型**の太陽光発電を中心に今後政策的に増強されると推測。



自家消費を中心に拡大が見込まれる

担当官庁	エネルギー基本計画で掲げられた施策	導入見込み量GW
政策強化		
環境省	公共部門の率先実行	6.0
環境省	地域共生型太陽光発電の導入	4.1
国交省	空港の再エネ拠点化	2.3
野心的水準		
環境省	民間企業による自家消費促進	10.0
経産省/国交省/環境省	新築住宅への施策強化	3.5
環境省/農水省	地域共生型再エネの導入推進	4.1

太陽光発電のFIT認定量・導入量・2030年度目標 (単位GW)

出典：資源エネルギー庁「今後の再生可能エネルギー政策について」(2022年4月7日)より当社作成

再生可能エネルギー ソリューション事業への挑戦

カーボンニュートラルを掲げる企業や地方自治体へ、従来の太陽光関連製品の提供に留まらず、**自家消費型**の再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に取り組みます。

カーポート型太陽光発電設備を用いたPPA事業 (※)



▲産業用カーポート「ネoportタイプ」イメージ

再エネソリューション事業への**挑戦**



当社がPPA事業を行う**強み**は、同業他社と比較して、**設計・ものづくり・施工**をグループで手掛けられること
(**コスト競争力を発揮できる**)

【参考】PPAと設備販売の比較

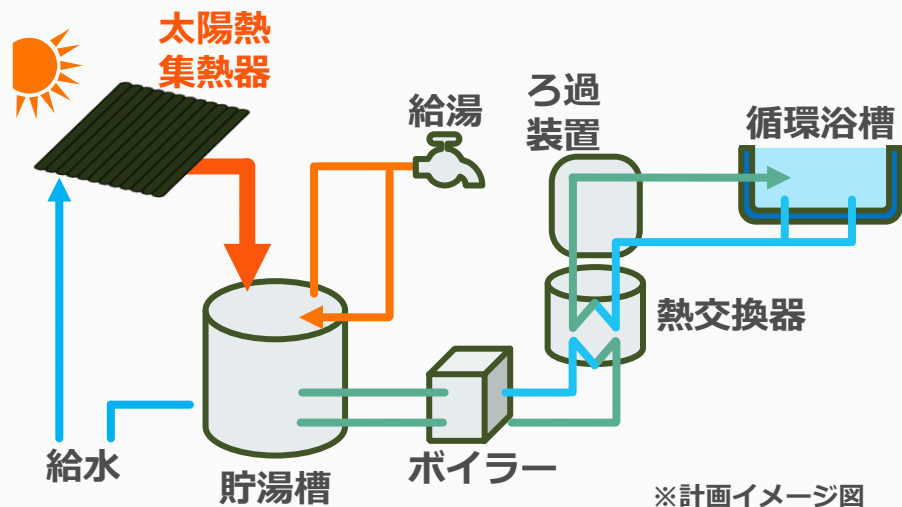
	PPA	自家消費設備の販売
所有者	当社保有	施主保有
施主の初期費用	発生なし	必要
メンテナンス	当社	施主
設備で発電した電気利用料金	有料	無料

PPAとは？

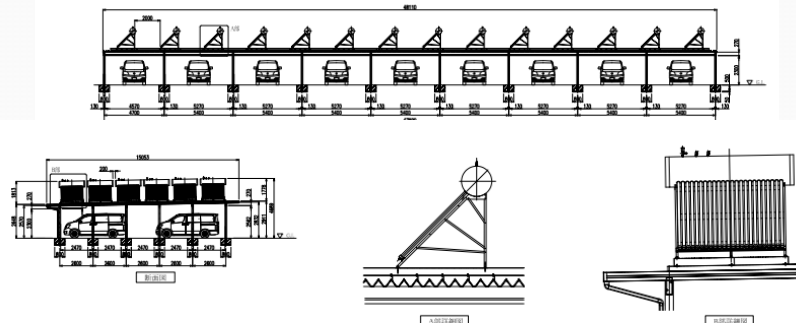
- ・PPA (Power Purchase Agreement) とは電力販売契約という意味で第三者モデルともよばれています。
- ・企業・自治体が保有する施設の**駐車場へ、当社が初期投資0円でカーポートと発電設備を設置し、発電した電気を、企業・自治体へ販売するビジネスモデル**です。
- ・企業や自治体は、電気料金の削減につながり、再エネ利用によるCO2排出の削減が期待できます。

再生可能エネルギー ソリューション事業 事例

事例 1 : 福岡県八女市



カーポート型架台 太陽熱集熱器84台設置予定
当社所有により太陽熱PPA事業を展開



令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)の再生可能エネルギー価格低減促進事業に、当社と福岡県八女市による事業が採択されました。

【Before】A重油ボイラー熱を用いて、温浴施設へ温水を給湯していた

【After】当社のカーポート型架台に、太陽熱集熱器84台を設置、太陽熱温水供給を実施する計画を策定

→ボイラーのみの利用時に比べ、CO2削減に寄与、燃料費削減も実現できる

年間約130~170万円程度の燃料費削減効果（推定）、灯油換算で約19,394ℓ相当のCO2削減効果！

事例 2 : 福島県石川町

生産拠点のある福島県石川町との間で「再生可能エネルギーを活用した持続可能な町づくりの推進に関する連携協定書」を締結。

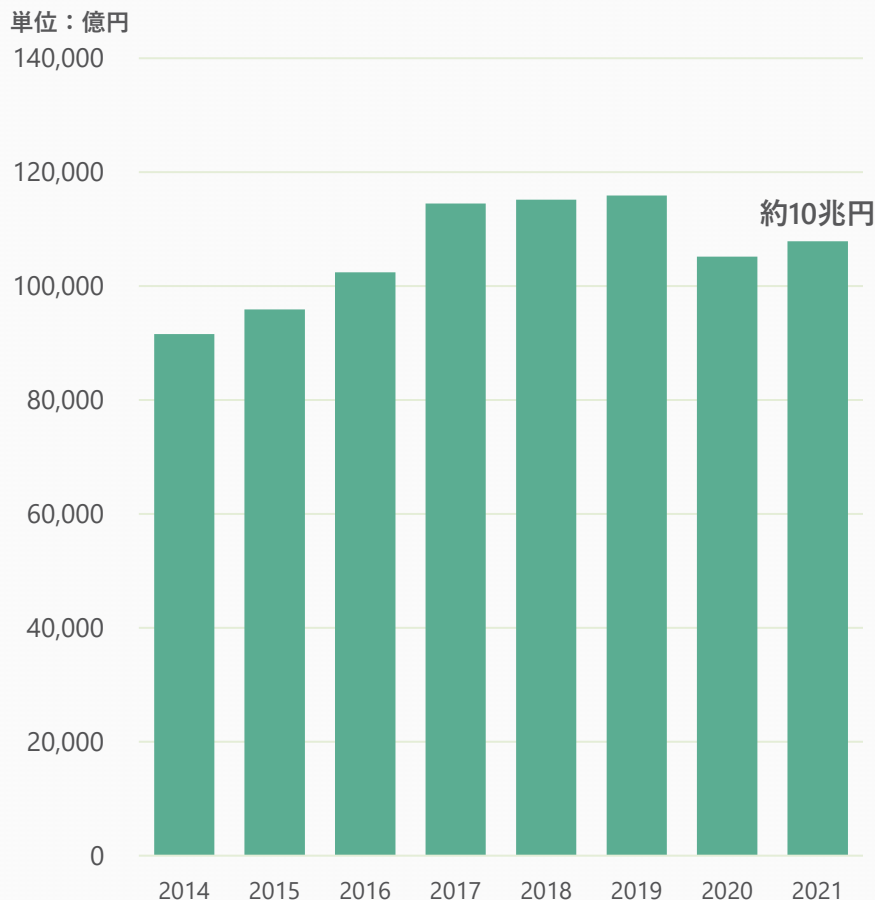
再生可能エネルギーを活用し、相互に有するノウハウやネットワークを活かしながら、地域の活性化に向けた取り組みを推進



事業環境：民間非住宅建築市場の動向（金属サンドイッチパネル）

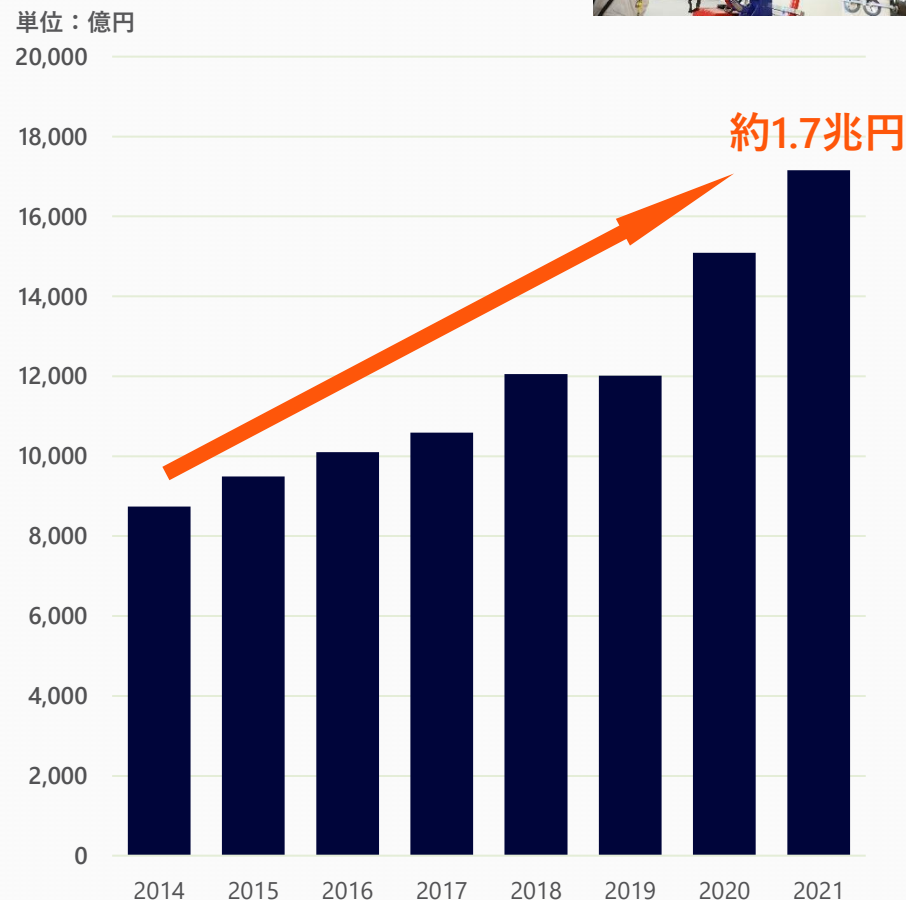
耐火・不燃断熱パネル

金属サンドイッチパネルの市場は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間非住宅建築投資全体では慎重姿勢がみられるものの、**物流倉庫**については**EC（電子商取引）の伸び**や、老朽設備の効率化・更新投資等を背景に、工事予定額が増加基調で推移している



■ 民間非住宅建築への投資金額（名目値）

出典：国土交通省「令和3年度（2021年度）建設投資見通し」より当社作成



■ 倉庫用途物件への工事予定額

出典：国土交通省「建築着工統計調査」より当社作成

設備投資（福島第2工場と設備の状況）

【福島第2工場稼働中の設備】



◀ パネルNCルーター加工機

橋梁土木用の建材の一部として用いる金属サンドイッチパネルの加工機です。この外装パネルは、**高速道路**や**鉄道高架**などの橋梁における保守点検作業を効率化できるほか、防錆、美装などの用途も付加できるため、今後普及が期待される建材加工製品です。

▶ 長尺パイプ形鋼3Dレーザー加工機

長尺パイプ・形鋼を、様々な角度、形状にレーザー切断、タップ加工できる加工機です。素材の搬入から加工・切断部材の搬出まで、自動で行うことができます。**筐体フレーム**や**建築構造物部材**の加工に用いることのできる設備です。



設備投資の主な内容

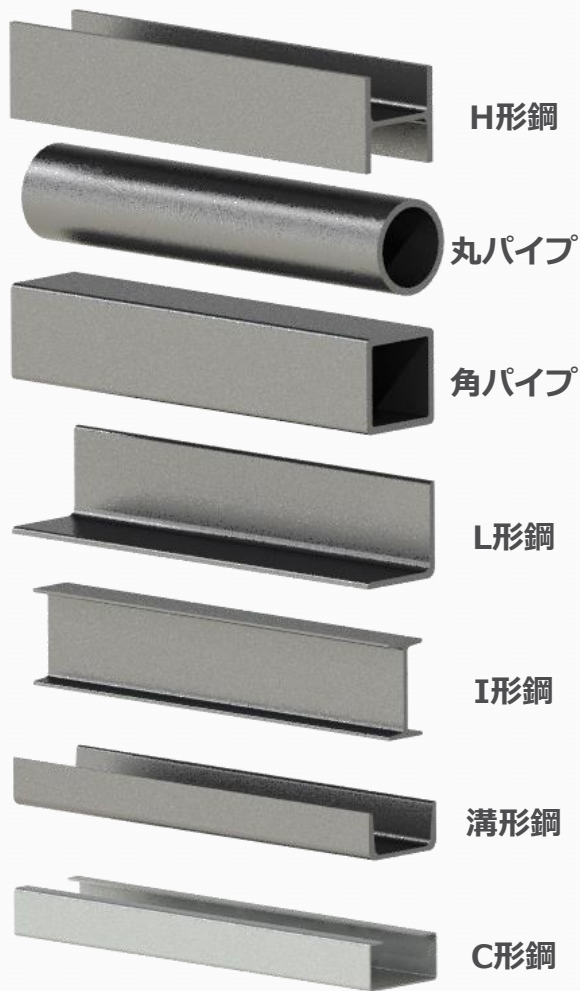
- ・新工場棟の新設（2022年2月竣工）
- ・耐火パネル生産ライン増設（稼働時期未定）
- ・不燃断熱パネル生産ライン新設（稼働時期未定）
- ・パネルNCルーター加工機（稼働中）
- ・長尺パイプ形鋼3Dレーザー加工機（稼働中）

耐火パネル・不燃断熱パネル生産ライン稼働予定の状況について

稼働予定を2022年9月としておりましたが、6～7月にかけて搬入が完了し、試運転をした際、設備制御プログラム等の不具合が発生し、その解消に一定期間の日数を要することから、稼働予定は未定としております。（判明次第改めてお知らせいたします。）

設備投資（加工アイテムの拡充）

素材：形鋼



形鋼加工への進出



加工事例



焚き火台「灯：Akari」シリーズ

鉄骨など建築構造物



当社が狙う形鋼加工市場について

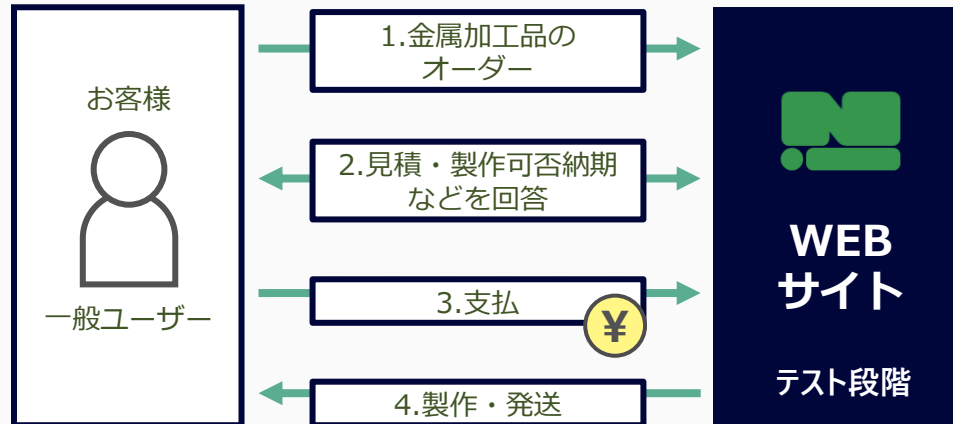
形鋼を加工した部材は、**鉄骨など建築構造物**や、**装置架台**や**筐体フレーム**、などに用いられます。

従来の板加工に加えて、新たな形鋼加工を追加することにより、「あらゆる**金属加工をワンストップ**で行える」体制を強化し、さらなる販路拡大に努めております。

「加工のプラットフォーム」への挑戦（中長期的な構想）

当社がグループビジョンとして掲げる「加工の総合商社」を具現化し、グループシナジーを最大化するために、「加工のプラットフォーム」実現を目指す。第一弾として、WEBサイトを立ち上げ、2022年5月より運用開始。

現在運用中のもの



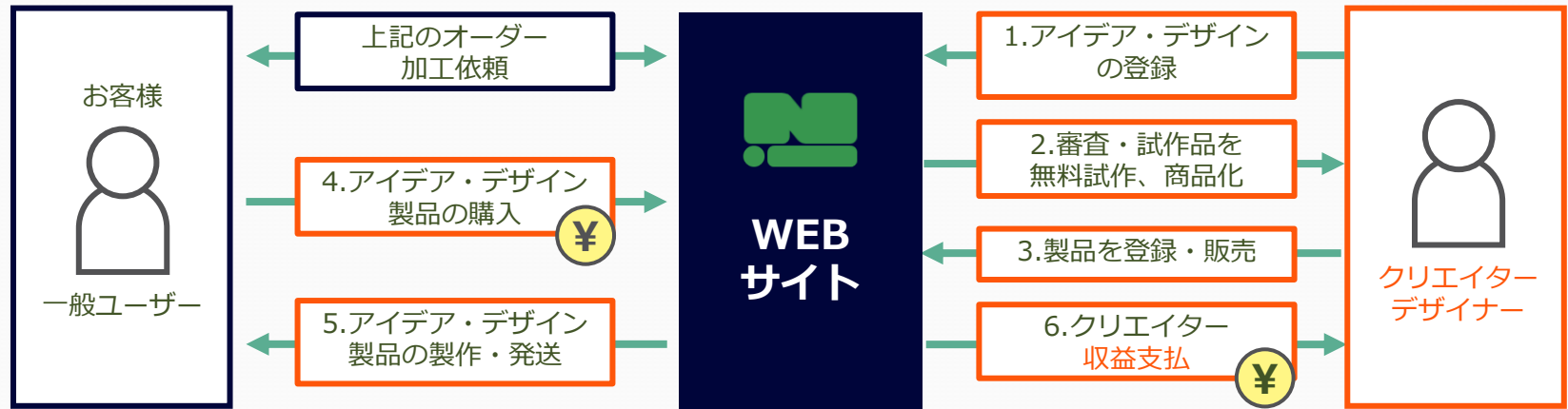
・金属加工を中心に、一般ユーザーマーケット（BtoC）に向けて、WEBでオーダー加工の受注をスタート

【背景】

一般ユーザーが金属加工のオーダー加工品を依頼できる先がない

将来構想

・上記に加え、アイデアを持つクリエイターやデザイナーが製品化をできる機能を追加





2022年8月期 決算概況

売上高は、前年同期比△2.1%
営業利益は、前年同期比△21.0%で推移

当社グループの主力事業である金属製品の加工・販売において、その主要原材料である鋼材価格の上昇、原材料の調達難等により、業績へ直接的な影響を与えました。

また、各種副資材やエネルギー価格等も上昇基調にあり、利益圧迫の一因となりました。

連結

売上高 73億74百万円

営業利益 3億58百万円

EBITDA 7億20百万円

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2022年8月期業績ハイライト (セグメント)

金属加工事業

売上高 4,418百万円 (前年同期比16.5%減)
セグメント利益 256百万円 (同48.6%減)
受注残高 1,228百万円 (同8.1%減)

太陽電池アレイ支持架台の大型案件の減少、耐火パネルの販売が伸長しなかったこと、**原材料の調達難、鋼材価格の上昇**等の影響を受け、売上高は4,418百万円 (前年同期比16.5%減)、当連結会計年度末における受注残高は1,228百万円 (同8.1%減)

ゴム加工事業

売上高 1,116百万円 (前年同期比2.2%増)
セグメント利益 259百万円 (同19.2%増)
受注残高 119百万円 (同17.0%増)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組んだことで、建設関連、建機関連、土木関連、電力関連、自動車関連等の各種業界向けの製品が**堅調に推移**し、売上高は1,116百万円 (前年同期比2.2%増)、当連結会計年度末における受注残高は119百万円 (同17.0%増)

建設事業

売上高 1,839百万円 (前年同期比60.1%増)
セグメント利益 150百万円 (同331.2%増)
受注残高 2,800百万円 (前年同期は163百万円)

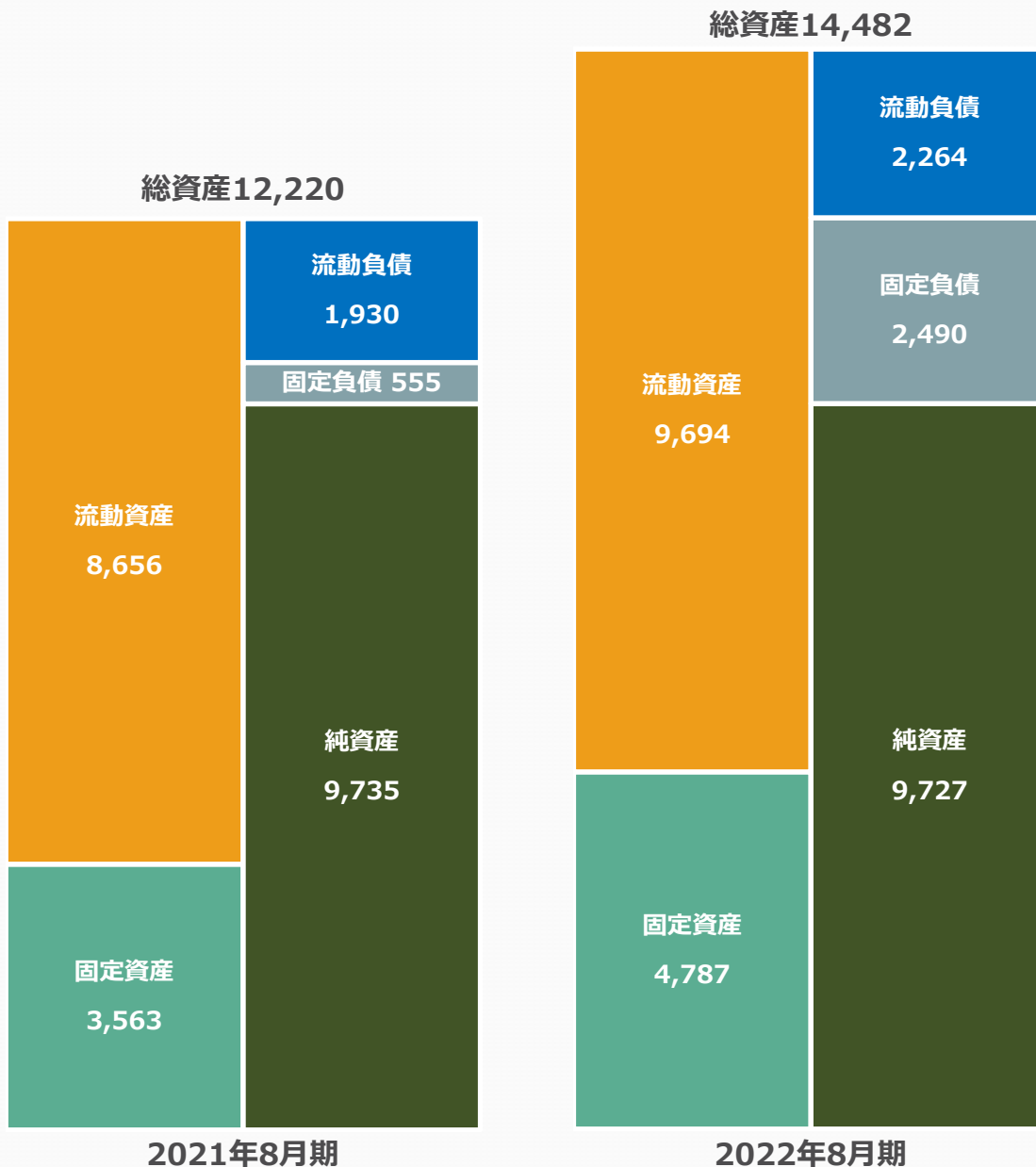
グループ間の情報連携を図り、太陽電池アレイ支持架台の大型案件は減少したものの、電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、**M & Aによりグループ化**した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は1,839百万円 (前年同期比60.1%増)、当連結会計年度末における受注残高は2,800百万円 (前年同期は163百万円)

2022年8月期業績ハイライト (連結・損益計算書)

(単位：百万円)

	2021.08期	2022.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	7,534	7,220	7,374	△ 159	△2.1%	154	+2.1%
営業利益	453	256	358	△ 95	△21.0%	102	+39.8%
(営業利益率)	(6.0%)	(3.5%)	(4.9%)	—	(△1.1P)	—	(+1.4P)
経常利益	528	258	396	△ 131	△24.9%	138	+53.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	427	137	154	△ 272	△63.8%	17	+12.4%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費)	805	610	720	△ 85	△10.6%	110	+18.0%
受注残	1,601	—	4,147	2,546	+159.0%	—	—

2022年8月期業績ハイライト (連結・貸借対照表)



主な増減要因

(単位：百万円)

流動資産

前期末比+1,037

- ・現金及び預金△554
- ・受取手形、売掛金、契約資産1,111
- ・原材料及び貯蔵品100
- ・流動資産その他217

固定資産

前期末比+1,223

- 福島工場の設備投資により、
- ・建物及び構築物（純額）712
 - ・機械装置及び運搬具（純額）199
- 連結子会社の増加により、
- ・のれん226

流動負債

前期末比+334

- 連結子会社の増加により、
- ・工事未払金220
 - ・1年内返済予定の長期借入金313
 - ・流動負債その他△300

固定負債

前期末比+1,934

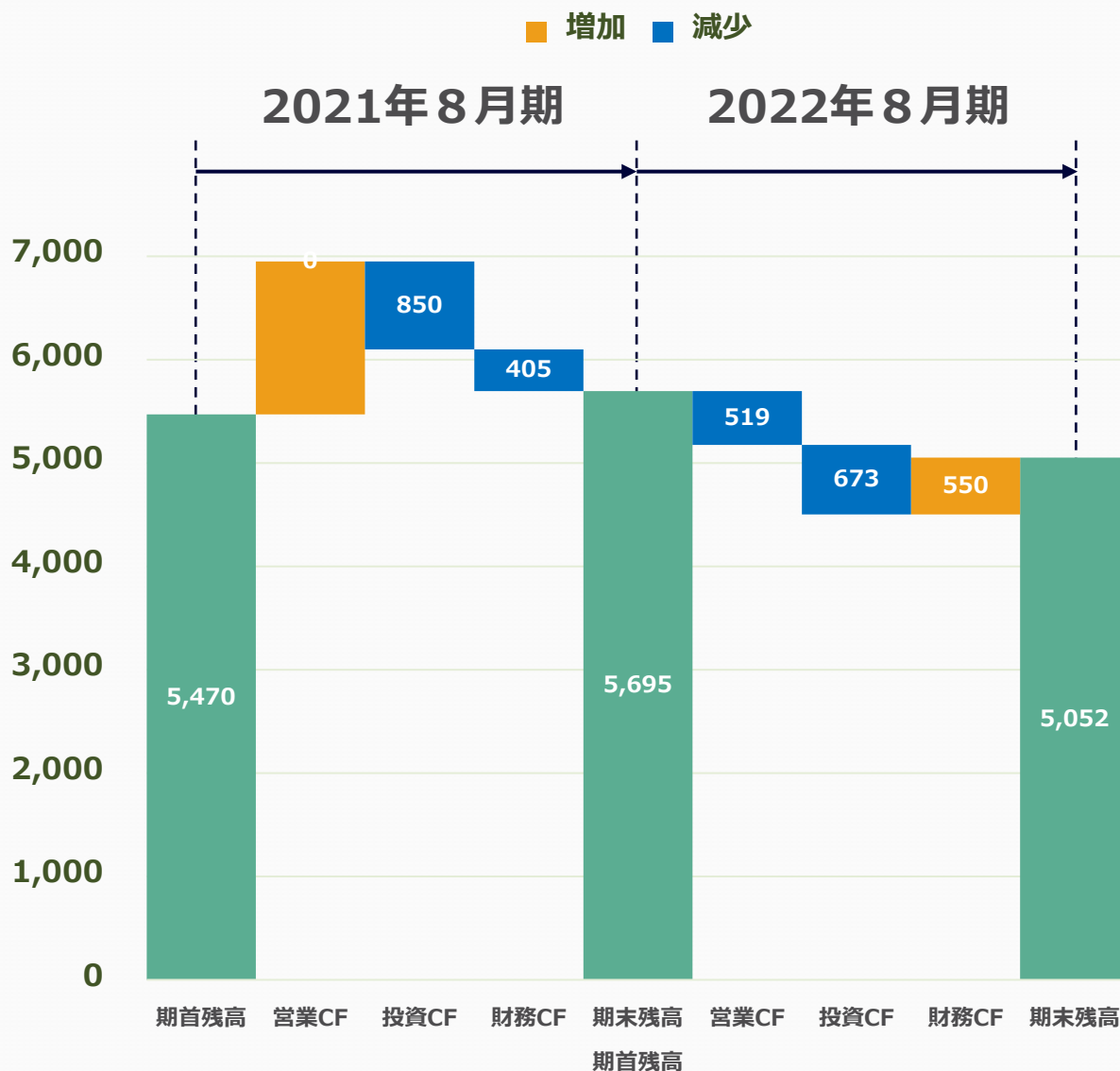
- 福島工場の設備投資・連結子会社増加により、
- ・長期借入金1,726
 - ・固定負債その他129

純資産

前期末比△7

2022年8月期業績ハイライト (連結・キャッシュフロー計算書)

(単位：百万円)



営業キャッシュフロー △519

税金等調整前当期純利益367
 減価償却費362 仕入債務の増加166
売上債権の増加△650
 棚卸資産の増加△195
 未払消費税等の減少△192
 その他の流動負債の減少△299
 法人税等の支払額△189

投資キャッシュフロー △673

定期預金の純減額380
 連結の範囲の変更を伴う
 子会社株式の取得による収入246
有形固定資産の取得による支出△1,250

財務キャッシュフロー +550

長期借入れによる収入2,350
 短期借入金純減額△437
 長期借入金の返済による支出△926
 社債の償還による支出△260
 配当金の支払額△160

2022年8月期業績ハイライト (連結・セグメント)

(単位：百万円)

	2021.08期		2022.08期		前年同期比	
売上高	7,534	(構成比)	7,374	(構成比)	△ 159	△2.1%
金属加工事業	5,293	70.3%	4,418	59.9%	△ 874	△16.5%
ゴム加工事業	1,092	14.5%	1,116	15.1%	+ 23	+2.2%
建設事業	1,148	15.2%	1,839	24.9%	+ 690	+60.1%
セグメント利益	751	(構成比)	666	(構成比)	△ 85	△11.4%
金属加工事業	499	66.4%	256	38.4%	△ 242	△48.6%
ゴム加工事業	217	28.9%	259	38.9%	+ 41	+19.2%
建設事業	34	4.5%	150	22.5%	+ 115	+331.2%
調整額	△ 298	—	△ 307	—	△ 9	—
営業利益	453		358		△ 95	△21.0%

※セグメント利益の合計額と営業利益との差異は主として各報告セグメントに配分していない全社費用

The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs that curve across the page. One arc starts from the top left and curves towards the center. The other arc starts from the bottom left and curves towards the right. The text is centered in the upper right area.

2023年8月期 業績見通し

2023年8月期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2022.08期	2023.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	7,374	9,300	+ 1,925	+26.1%
金属加工事業	4,418	5,486	+ 1,067	+24.2%
ゴム加工事業	1,116	1,154	+ 37	+3.3%
建設事業	1,839	2,660	+ 820	+44.6%
営業利益	358	580	+ 221	+61.7%
（営業利益率）	（4.9%）	（6.2%）	－	（+1.3P）
経常利益	396	580	+ 183	+46.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	394	+ 239	+154.8%
EBITDA （営業利益＋減価償却費）	720	1,086	+ 365	+50.6%
受注残高	4,147	－	－	－

2023年8月期 業績見通し

売上高9,300百万円

（前年同期比26.1%増）

営業利益580百万円

（同61.7%増）

- 金属加工事業において、固定価格買取制度（FIT案件）の太陽電池アレイ支持架台の需要が弱まり、自家消費を主眼に置いた再生可能エネルギー案件に関する需要が増加していくと見込む。
- 金属サンドイッチパネルやその他の金属パネルについても堅調に推移すると予想。
- ゴム加工事業については、売上高は前期並みに堅調に推移すると予想。
- 建設事業は、株式会社壹会の業績が通期にわたって寄与することから、増収を見込む。



第3次中期経営計画 進捗報告

第3次中期経営計画について

第3次中期経営計画テーマ

“Challenge”

【第2次中期経営計画の反省】

・第2次中期経営計画の戦略投資枠50億円については、東証上場審査や、新型コロナウイルスの影響を受け、設備投資を抑制、またM&A実績もゼロとなった。

中期経営戦略（基本戦略）

成長への投資

- ・成長を加速させるため、資金を、**M&A、設備、人材、新規事業**へ重点的に投資

持続的成長に向けた経営基盤づくり

- ・グループリスク管理の強化
- ・コーポレートガバナンスコードへの対応
- ・コンプライアンス経営の強化
- ・業務改善の推進
- ・製造原価削減の推進

サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、**社会的価値と経済的価値**を満たしていく

第3次中期経営計画（定量的目標）

金属加工事業

売上高
52.9億円→**87.5億円**
(+34.6億円)

ゴム加工事業

売上高
10.9億円→**12.5億円**
(+1.6億円)

建設事業

売上高
11.4億円→**20億円**
(+8.6億円)

M&A

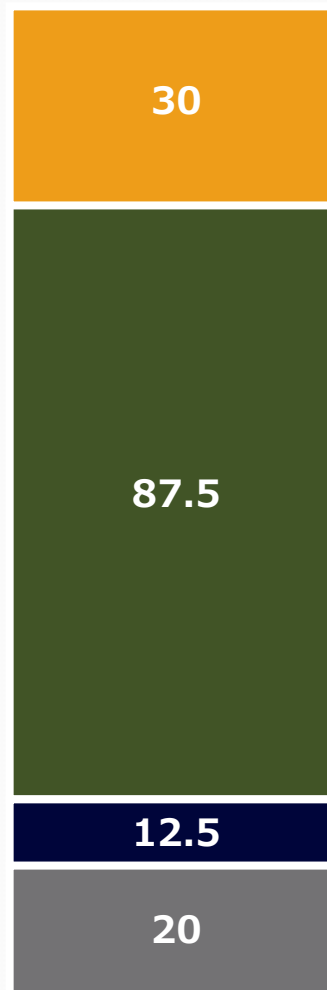
売上高
30億円
(+30億円)

- 金属加工事業
- ゴム加工事業
- 建設事業
- M&A



2021年8月期
実績（連結）

150億円



2024年8月期
目標（連結）

2024年8月期
目標（連結）

売上高
150億円

EBITDA
15億円

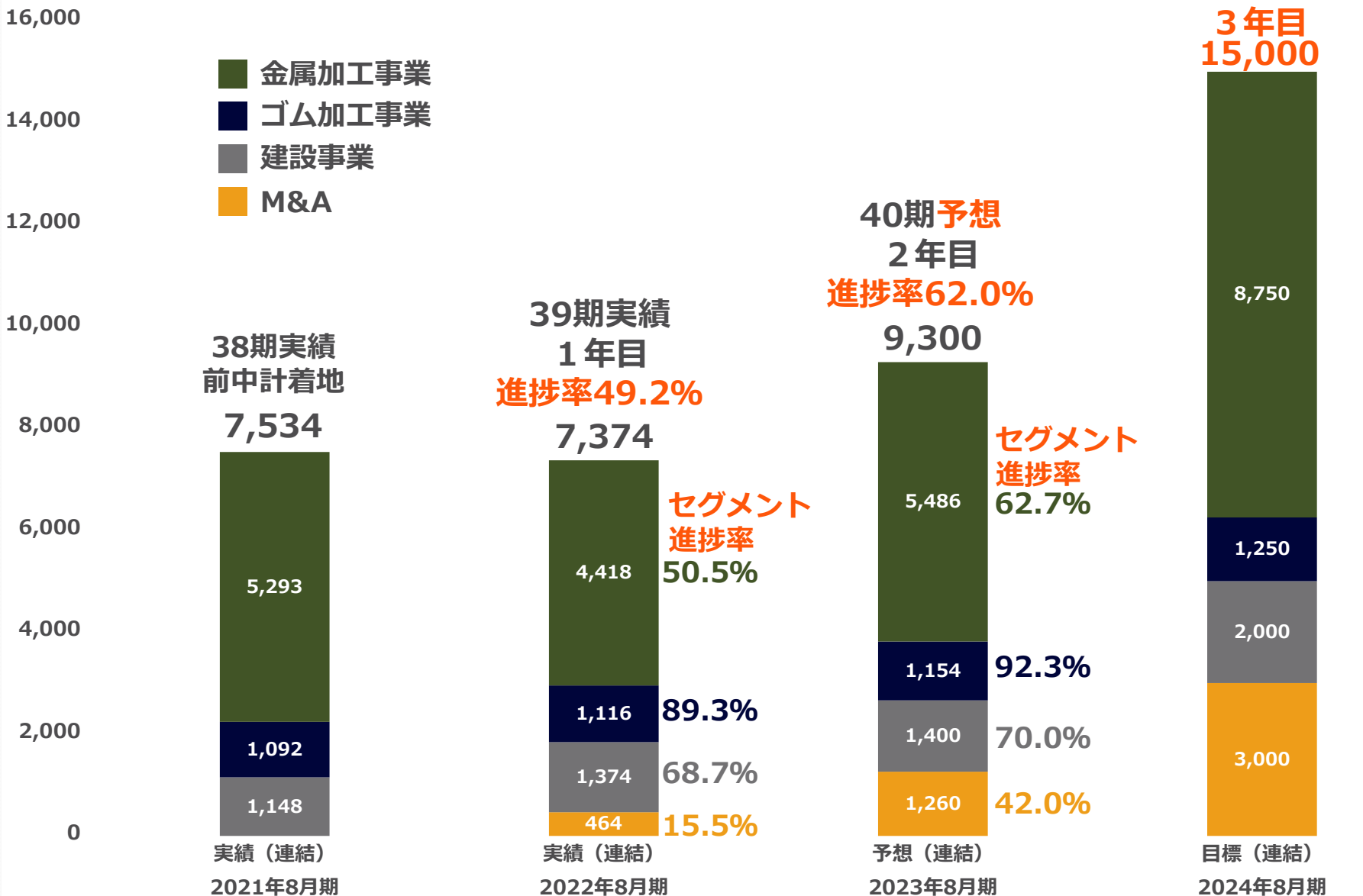
※EBITDA
= 営業利益 + 減価償却費

3か年の投資枠
目標金額

50億円

第3次中期経営計画（定量的目標に対する進捗状況）

単位：百万円





当社の配当方針

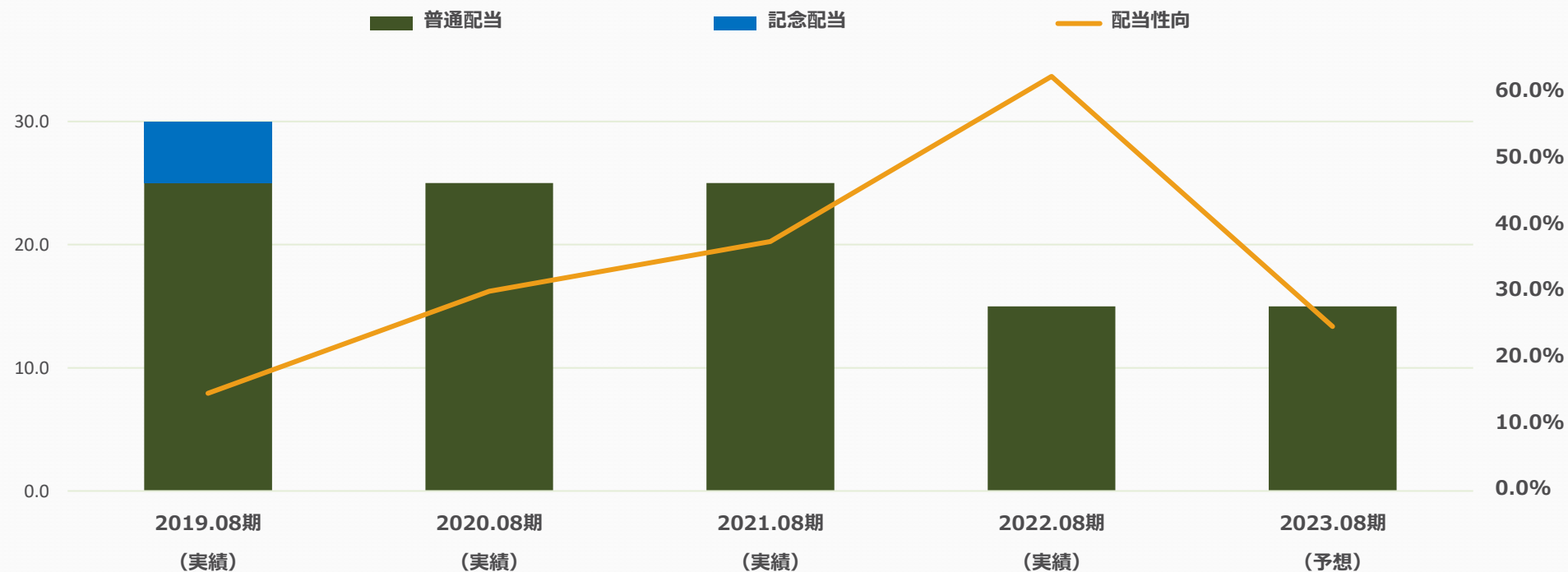
配当方針

(円、銭)

配当に対する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

	2019.08期 (実績)	2020.08期 (実績)	2021.08期 (実績)	2022.08期 (実績)	2023.08期 (予想)
記念配当	5.0	—	—	—	—
普通配当	25.0	25.0	25.0	15.0	15.0
計	30.0	25.0	25.0	15.0	15.0
配当性向	14.7%	30.1%	37.6%	62.5%	24.6%



お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。